

AFFORDDマニフェスト報告

派生開発推進協議会運営委員 吉原 政智

- 本報告はマニフェスト作成合宿での検討結果を報告するものです
- 内容についてはまだ協議中であり、決定したものではありません
- 本日も集りの皆様にも是非ご意見いただけると幸いです。

- 2023年11月17日（金）～18日（土）にAFFORDD合宿を実施
- その際に、「AFFORDDはこれからどこを目指すのか？」という議題が上がる
- これを受けて、4/12、4/13の2日間をかけてマニフェスト合宿を実施しました

- (HPより抜粋) 派生開発推進協議会は、今日の開発の殆どを占める派生開発が効果的に行なわれる技術の開発や普及、更にはそれによって得られた「余裕」により、新たな技術の獲得や革新が進む状態を作れるよう後押しすることを目的に設立された非営利団体。

以下、初代代表と3代目代表の言葉より

- 日本企業の競争力に資するために設立
- 活動で得た成果や現場での取り組みのヒントなどを提供する
- 派生開発技術を広めて現状を改善する
- 新しい技術にチャレンジする時間を手に入れる
- より良い製品・サービスを世に送り出して社会貢献する

• XDDPを例に各フェーズの具体的な良いところをピックアップ

事前調査

スペックアウト

- 構造を明らかにし
影響箇所見える化

要求確定

変更要求仕様書/
追加要求仕様書
(USDM)

- 要求はステークホルダーが
システムにしてほしい動き
- 階層構造で見える
- 自然言語 モデリング

修正箇所特定

トレーサビリティマ
トリックス(TM)

- 変更戦略
(変更アーキテクチャ設計)

変更内容確定

変更設計書

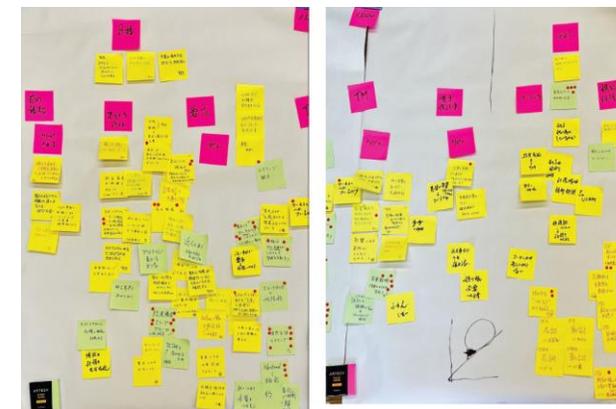
- どのように変更するかを
文章で表現

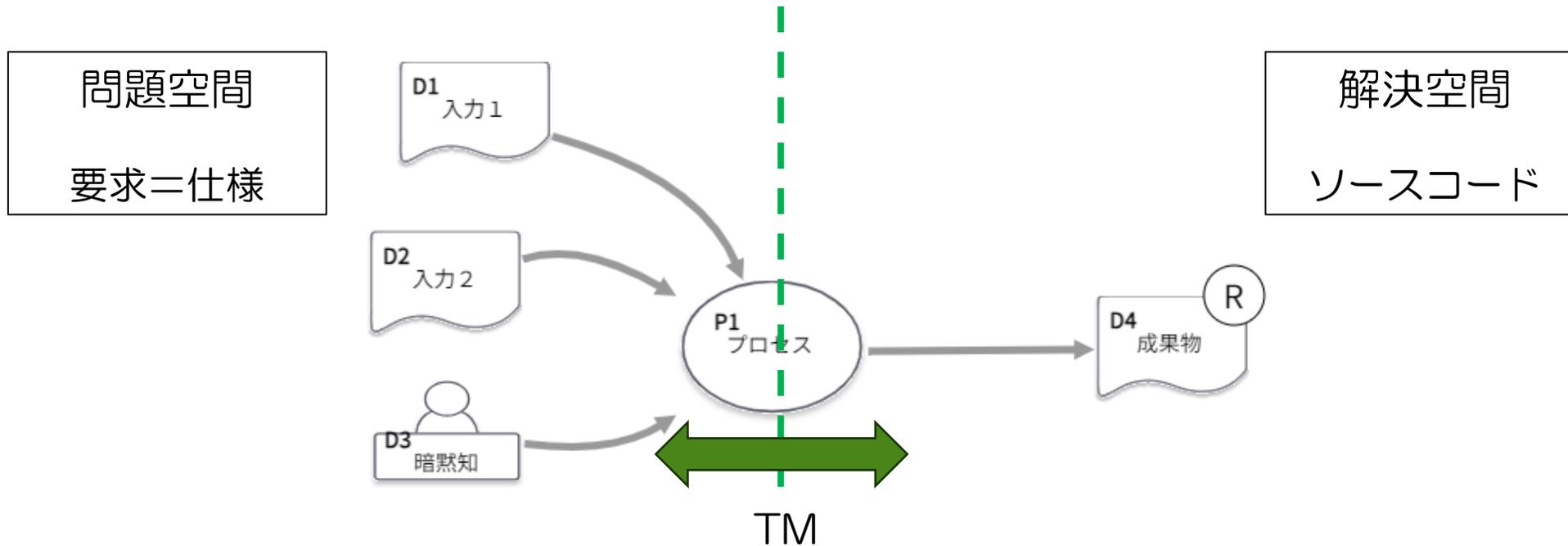
コーディング
テスト

自信を持って世に出す



理解の不一致を最小限度の成果物で抑える





- 見えない問題（要求）を見えるようにするためにUSDMMが有効
- 見えない影響範囲を見えるようにするためにTMが有効
- 問題を効率よく解決するためにPFDが有効

我々AFFORDDは、より良いものを作り続けるために

文章による共通理解と無駄のないプロセスを大切にします

そもそもなぜ私たちはこの活動をするのか

AFFORDDは駆け込み寺

- 困窮する現場の人が、
- 今、変えたい事をすぐに相談でき、
- 一人から始めれる技術を持ち帰る

そもそも清水さんが常々口にしていたことは

- 良心を曲げずに済む仕事をしたい
- SEの生活を楽しくするための知恵を共有したい
- プロとしての仕事の条件は・・・
- 余裕ができれば「エンジニアは良心を取り戻し」製品は良くなる

→ より良いものを作り続けるために

我々AFFORDDは、より良いものを作り続けるために

現場に合ったやり方を共に実践し学び高め合う仲間を大切にします

AFFORDDは、以下のような「場」である

- みんなが相談にのってくれる
- 現場の問題を共有できる
- 心理的安全性が守られている
- 発表する場があり、幅広い年代の人の考え方を知れる
- 他の業界の人たちと交流ができる
- やる気さえあれば学べる
- 楽をするために共に苦勞する
- 新しい技術を得られる

我々AFFORDDは、より良いものを作り続けるために

新しいことを肯定的な眼で捉え工夫して取り入れる勇気を大切にします

より良いものを作り続けるためには

- 開発者の能力を最大限に活用し続ける必要がある
- そのための余裕を作り続ける必要がある
- 世の中の変化に併せ、新しい技術を取り入れ進化していく必要がある
- 想いや志の共有をベースとした不断の改善が必要である

ただし、基本に忠実であることは忘れずに

我々AFFORDDは、より良いものを作り続けるために

- 文章による共通理解と無駄のないプロセスを大切にします
- 現場に合ったやり方を共に実践し学び高め合う仲間を大切にします
- 新しいことを肯定的な眼で捉え工夫して取り入れる勇気を大切にします



派生開発推進協議会

AFFORDD